

たんちよう

No. 122
8月号

HSK

編集／釧路地方腎友会



【目次】

「シャント」	退任にあたって	上田弘氏	1・2
ちょっとおしえてコーナー			2
脳死臨調中間報告について			3
長崎・普賢岳カンパについて			4
全腎協第22回総会北海道大会に参加しよう			5
日帰りハイキングに参加して	大野禎子・船木崇子		6・7
「出会い」	小林 晶子		8
心臓病と私	田中梅子		9・10
「おいしい店」	金井 英雄		11
クロスワードクイズ			12
「会員の動向」新患者・新会員・転院			13

シヤント

「退任にあたり」

前会長 上田 弘

今年の釧路地方腎友会総会で会長を退任し、相談役として参画することになりました。会長退任に当たり、気のつくことを何点か書いてみました。

難病連行事に参加を

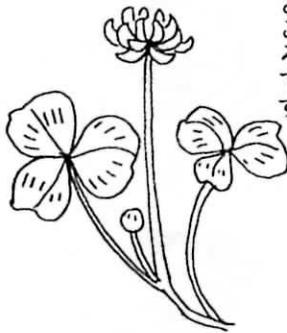
透析生活十五年半となり、釧路地方腎友会結成からかわっている私は、多くの変遷を見てきました。また、難病連活動にも参加し、透析患者だけでなく、別な多くの患者さん方にも接することができました。そこで思うことは、透析患者は「日劇のヒーロー」ではないということです。透析患者以上に精神的・肉体的その他多くの苦難を乗り越えながら、限られた人生を送っている患者さん方が多くいるということを知られました。現在の透析患者の状況といえは、①医療費は0 ②自分の意志で行動を起こせる ③自分の口で食事をとり ④自分なりの感情の表現ができます。この他にも

多くあると思いますが、私がこのように思えるのは、難病連という組織に深くかかわれたおかげだと思っています。患者個々の現状を判断するときは、まず、難病連の多くの行事に参加し、他の病気の患者さんはどうなのかということ、是非知っていただきたいと思えます。きつと、自分が悲劇のヒーローではないということを感じとれるでしょう。

制度の現状維持を

昨今の医療事情は、一時期と比して非常に恵まれた状況にあり、ともすれば、これ以上の医療・福祉関係の活動は不必要に感じられている会員もいるように見受けられますが、活動をストップすることにより、私ども弱者（患者・障害者・高齢者）には何が起こるでしょう。懸命なあなたならすぐに答えがわかると思います。これまで毎年くり返して行われていることですが、国では医療・福祉関係の必要経費が増大するため、いかに、どここの経費を切り捨てていくかに苦

労しているところですよ。



この切り捨てをさせないために、患者団体が結束して切り捨ての中止を求めて活動しているわけです。

しかし残念ながら、全部を中止させることができないときもあり、若干の改正・改悪を認める結果となったことも明らかであります。患者会が医療・福祉制度の改悪に反対する活動をしていないと、毎年、国が考えている改悪案が実施され、投石患者も現在の条件で受け入れないことは明確であります。

そうならないために、患者会（腎友会）に結集し、一人でできない行動を多くの仲間との共同作業で、現行制度を維持する活動を展開する必要があります。

今後、新会長竹内 昇氏を先頭に、恵まれた制度を守るため、役員はもちろん会員の皆さんが一枚岩のように団結されることを期待します。

役員間の協力を

どこの患者会組織も同じように感じますが、特に事務的作業が一部役員に負担がかかっているのが現状であると思えます。多くの役員が協力しながら、事務処理をしていかなければ、将来は活動の停滞につながり、ついには消滅になりかねません。患者会の仕事は、誰もが初めての経験であり、手をかけなければいつま



でも初めてということになり、役員の交替といふこともできなくなりませう。

是非、各役員の皆さんは色々な活動に参加し、いつでも活動の企画・実施を任せて、というふうになっていただきたいと思ひます。

外野席で観察を

私は透析をはなれたわけではなく、腎友会の会員であります。会員が積極的に釧路地方腎友会にとけこめる組織になれるよう、別な観点で釧路地方腎友会をながめ、外野席で観察させていただきます。

最後に、釧路地方腎友会がますます発展されますようお祈念申し上げます。

ちよっとおしえてコーナー

Q 透析している人が一番気をつけなければならない事は何ですか？

A それは、何といたっても水分・塩分をとりすぎないことです。透析者の死亡原因のベスト3は「心臓・肝臓・脳」です。この3つを大切に守るためには、水分・塩分をとりすぎないで安定した透析を受けられるようにすることが大切です。

Q 北海道の腎臓提供登録者は何人くらいいるんですか？

A 平成3年3月現在、全国では284,514名、道内では11,479名となっています。昨年一年間、道内では640名の登録者がいました。毎年、登録を呼びかけているにもかかわらず、あまり増えていないのが現状です。今後、透析患者の家族にも登録するように運動を広げていかなければならないと思ひます。参考までにアメリカでは昨年一年間で移植をした人の数は8000例近くに上っています。それに対し、日本では昨年800例とアメリカの割しか行われておりませぬ。いずれにしても、脳死問題とからめて早急に解決されることが望まれます。

※これから、この様な質問に対し各病院の先生がたにお話をうかがいながら答えていきたいと思ひます。質問を編集部までお寄せください。（編集部住所はクイズにところに載っています）

脳死臨調の中間 報告口について

臨時脳死及び臓器移植調査会（脳死臨調）は30日開いた調査会で、脳死を容認し臓器移植を進める方向での多数意見に、少数意見を別添として付けることで中間意見をまとめることを決めました。脳死を容認するのが、15人の医院と5人の参与のうち多数意見であったことを明らかにした。

反対する人の意見は①脳死は人の死とは言えない②確実な脳死判定ができるか疑問③医学が先行して死という社会的、宗教的、哲学的な問題を決定するのは逆ではないか、などとなっています。

岡山市「岡山共立病院」では去年の1月に脳死状態の男性から臓器を摘出し、患者一人に移植手術をしたことが明らかとなりました。

担当した医師は、厚生省研究班の基準に従い、①深い昏睡②自発呼吸の消失③瞳孔の固定④脳幹反射⑤平たん脳波などを確認した上で実施したといえます。

腎臓をもらった患者は41歳の男性と31歳の女性で二人とも順調とのことです。この脳死移植は時期が時期だけに賛否両論を呼んでいるようです。

脳死臨調が昨春秋、有識者十人を対象に行なった意識調査では、回答者の65、

1%が「脳死を人の死と思う」と答え、「思わない」の15、3%の約4倍となっています。

脳死移植の本命は心臓移植と肝臓移植であることはご存じのとおりですが、私達の腎臓移植もあることに代わりはありません。

ただ、事を早急に運ぶことは反対する人たちをいたずらに刺激するだけです。日本という慣習的になじまない国に移植医療を定着させるためにはまだまだ時間が必要のようです。

この世論を動かしていくために私達が必要しなければいけないことは、やはり、ドナーを増やしていくこと意外にはないのではないのでしょうか。

腎臓を提供してもよいという人（ドナー）が増えるということは、それだけ脳死問題や移植について理解する人が増えることだからです。

釧路地方腎友会でも、この観点に立って、私達患者の家族から提供登録を進めていこうと思います。会員家族の皆様のご協力をよろしくお願い致します。



お礼のおたより紹介

前略

夏日の暑い陽ざしの毎日ですが、お元気でお過しですか？先日ご案内した道南腎協総会は予定通り無事終了致しました。その際、懇切な『祝電』を頂きありがとうございました。会員一同に紹介させていただきました。これからも、当会のご指導をお願いし、総会終了のお知らせとお礼を申し上げます。

草々

道南腎臓病患者連絡協議会

会長 田中 政夫

被災会員のためのカンパについて

会員の皆さんは既にご承知のように、今年6月3日、8日の火砕流で報道陣を中心に多数の死傷者を出し、地元住民に多くの損害を与えた長崎県雲仙普賢岳の噴火活動は長期化し、島原市周辺の住民の生活に重大な影響を与えています。この被災者の中には、腎臓病の会の皆さんも相当数含まれています。こうした事態を重視した全腎協では、カンパを呼びかけることに決めました。

被災地周辺の会員は数人おり、農地に被害を受けた方、商業が滞っている方などがあるほか、公民館などに避難している方もおり、その数は数十名にも上っているとのことでした。

以上のような状況で、少しでも役に立てばの願いをこめて釧路地方腎友会でもカンパに協力したいと思います。

会員各位のご協力をよろしくお願いいたします。

- 道腎協を通じて取り組み、釧路で一括集約して道へ送ります。
- 領収証は改めて発行しませんが、カンパ総額は病院ごとにまとめ、会員に周知する。
- 締切日は特に決めませんが、まとまりしだい集約して送金する。
- 会員の皆さんは各病院の幹事さんに提出願います。
- 各病院の幹事さんは、ある程度まとまりしだい事務局長に届けてください。

全腎協第22回総会北海道大会に

参加しましょう

日時：平成4年5月23日(土)交流会

平成4年5月24日(日)総会・分科会

場所：定山溪温泉ホテル

参加費：1泊2日(交流会・朝食) 11,000円

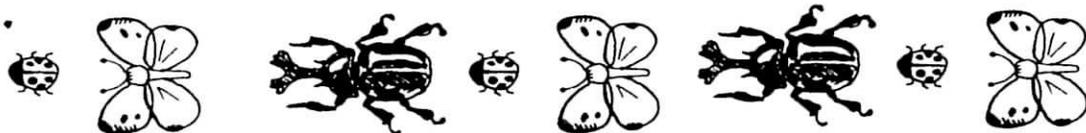
1泊2日(朝食のみ) 8,000円

なお、釧路地方腎友会の場合は積立金があるため、その中から補助が出ますので、会員家族の負担は少なくてみます。

昨年の総会からお話ししておりました全腎協総会北海道大会がいよいよ来年に迫ってまいりました。釧路地方腎友会では数年前よりこの総会に向けて積立てをし、参加の準備をしまっていることはご存知のとおりです。できるだけたくさんの会員家族の方が参加していただけるようにと、役員一同いろいろ工夫しているところですが、交通手段が一番の難問です。

そこで、近近、皆さんにアンケートをお願いし、希望の多い内容で実施していきたいと考えています。上記の通り、費用は余りかかりませんのでたくさんの方が参加されるようお願いいたします。

今から予定に入れておいて、体調を整えておいてください。めったにないチャンスですのでのがさないようにいたしましょう。



日帰りハイキング 無事終了

来たる七月十四日(日)朝八時半林田クリニック出発、市立病院経由で一路、標茶町多和平牧場めざして出かけていきました。残念ながら参加者は28名と、若干少なかったのですが、和気あいあいのなかで楽しい一日となりました。

行くバスのなかでは恒例のすれ違い自動車クイズを実施し、景品のオオバンフルマイ。一つも当たらない人にもかわいそうなので、最後には一個だけ景品をあげました。途中、標茶町内を流れる鉦路川では、ニュースでも紹介されたコイノボリが川幅いっぱい吊してありました。とても壮観でした。

十時頃、多和平の入口に着き、調子のよくない人数人以外、ほとんどの人が一キロ足らずのなだらかな坂道を歩いて展望台をめざしました。

展望台の焼肉コーナーには、先発を引き受けてくれた掛札副会長がみんなの来るのを首を長くして待っていてくれました。全員着くか着かないうちに、さっそくスミの火おこし作業が始まりました。

展望台からは、三百六十度見渡せましたが、あいにくの曇り空のため遠くの山々

までは見えませんでした。それでも、まわりの草原には牛や羊が放牧されていて、牧歌的雰囲気を感じることができました。

十一時を少し回った頃、肉の準備がととのい、少し早い昼食パーティとなりました。プレートの上にはジンギスカン、タマネギ、ピーマン、焼き鳥、ジャガイモ、トウキビ、うどん、焼きソバ、etc. があふれ、参加者の胃袋にはこぼれました。みんな紳士淑女なので取り合うこともなく、和気あいあいのうちに食事が進んでいきました。

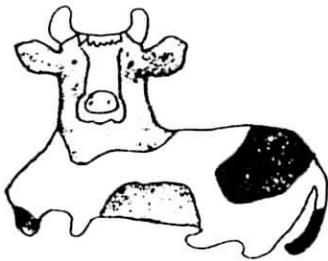
おなか一杯食べ終わった頃、全員で記念撮影をし、温泉へ行く準備を始めました。参加できなかった皆さんに、一つ耳寄りな話を紹介します。この多和平展望台のところに水道は、摩周岳の伏流水を湧き口から直接引いてきた水で、葉などは一切はいていないとのことでした。適度に冷たくて、なかなかおいしい味でしたよ。鉦路から1時間30分で行けます。一度味わいにいってみてください。

さて、日帰りハイキングの一行は、1時に子宝温泉に到着し、さっそく汗を流しに温泉へザブーン。2時間以上もねばって人がいましたよ。増えた水分をいくらか落として、帰路のバスの中。帰りのバスのなかでは、ビンゴゲームをして又々

景品をもらいました。初めて参加した人の弁「お金がかからないでこんなに楽しい旅行ができるのに、もっと参加すればいいのにね。」フムフム同感同感。

鉦路に到着が午後5時半。一人のケガ人も具合も悪い人もなく解散となりました。雨も降らないで無事終えることができました。福祉バスの運転手さんをはじめ、協力してくれた皆さんありがとうございました。

今回残念ながら参加できなかった皆さん、9月28日と29日には秋の一泊旅行も企画されます。その時はぜひ参加してくださいね。



多和平ハイキングに参加して

林田クリニック

大野 復子

(大野淳一さんの奥さんです)

朝起きて……「雨でもないし、晴れてもいない。まあよかった。」と思う。

雨なら、この日に合わせて買ったウォーキングシューズが無駄になるし、青空いっぱい晴ならまたまた、この日に合わせて買った帽子を通して日に焼けてしまい、結局醜いシミが顔全体を覆ってしまふから。だから思わず「ラッキー」と叫んでしまった。

もう一緒に来てくれない子供二人を家に残して、腎友会の人たちと一緒に久しぶりのバスの旅。

クイズをしながらワイワイ騒ぎ「あっ」という間にハイキング地点に着く。

そこから十キロは歩くのかと思ったら一キロ足らずで目的地へ着いてしまった。すばらしい景色のなかで牛さんも寄ってきて、一緒に食事。記念撮影においしい水も飲んで、次の目的地子宝温泉へ。

実は私は温泉に入るのが最大の喜びで、主人に「温泉、温泉」と耳元でささやかれてやってきたのです。実のところは、この温泉こそが本当の目的でした。何しろ3時間はノンビリしてられる

とのことで、透析はしていないけれどダイエツト中の私は、何と二時間で1.5キログラムくらい落とせました。後はゴロゴロしながらノンビリ。

十四年前のちょうど今頃は、2才と1才の子供をかかえて、病院通い。小学校入学まではたして主人は生きていられる

のだろうかと思ひ、不安な日々が続きました。十四年間穏やかな日々は何日もなかったけれど、それでもこうやって生きていられるのは、主人のがんばりと病院の方々のおかげです。さらに、腎友会の皆様とのコミュニケーションがあったからだと思ひます。

今日は本当にのんびりとした一日でした。また機会があれば参加したいと思ひます。役員の方々いろいろお世話様でした。腎友会の皆様、また元気に会いましょう。

ハイキングに参加して

釧路泌尿科クリニック

船木 崇子

七月十四日、私と子供(小学生)も参加してハイキングに行ってきました。

一人の方が乗車していませんとのことで、十五分くらい待ちましたが出来なかったので、八時四十五分頃、林田クリニックを



多和平まで、車のナンバー当てや色当てゲームをしながら行きました。(私は2回しか当たりませんでした……)

多和平に十時七分に到着。(これもゲームの問題にされた)

途中歩ける人は下車して、10分くらい歩きました。あいにくの曇り空で、展望台から山々が見えませんが、改めて北海道の自然の美しさと、水のおいしさが感じられました。

それから、ジンギス汗を食べて、子宝温泉へ向かいました。温泉では二回もお風呂に入り、少々バテきみになりました。

透析をして二年目ですが、初めて参加をし、たくさんの方が参加するのかなと期待していたのですが、三十人にも満たないとのこと。少しがっかりです。

でも、色々な人と話ができよかったです。病気のことも忘れて、ジンギス汗も食べて、温泉に入って、楽しい一日でした。

『出会い……』

小林 晶子

夏帯や 泣かぬ女となりて 老ゆ

真砂女

偶然みつけた素敵な出会いでした。

『銀座・女将のグルメ歳時記』鈴木真砂女著、と題されたその本は、銀座裏の小料理屋「卯波」の女将、鈴木真砂女さんの日々の暮らしぶりや四季の句とその解説が書いてある随筆集です。

あるときは 船より高き 卯波かな
人の一生は波の頂上になつたり、また、奈落に落ちてしまうこともある。

けれど、また いつか 浮かぶこともある・・・という意味で

名付けられた小料理屋「卯波」の女将である真砂女さん。

ある雑誌の本紹介のページで偶然みつけた素敵な出会いでした。

俳句のことは、そんなに詳しくない私でしたが、その魅力にひきこまれ、ついその気になって一句ひねったりしてしまふほどでした。(それは恥ずかしいので公開いたしませんが・・・)

最初にあげた句は、長い人生を振り返って、女としての心情がうかがえる美しい

句です。いつも何かに出会って輝いていたい、何かを感じられる自分でありたいと改めて感じる事ができた一冊でした。

もう一つの出会いは、

女優の長岡輝子さんが、宮沢賢治の童話を盛岡弁で語っているCDです。

知人から借りたのですが……

これがすばらしい!

そのあたたかい盛岡弁で語られる賢治の童話は、セロ弾きのゴーシュだったりオツベルと象、ざしき童子のはなしだったりと、まるで、いろいろばたでおばあさんのおはなしを聞いている孫のようです。賢治のあたたかく、どこかやるせない童話が盛岡弁で語られる時、これまで聞いたどの朗読とも、また、自分で読んでみるのとも違う賢治の世界が見えてくるのが不思議です。

長岡輝子さんと一体となった賢治がそこにいるような感じすらします。

長岡輝子さんの朗読のすばらしさもさることながら、盛岡弁の美しさにも感動します。変な言い方ですが、日本に生まれてよかったなあと思うのは、四季の美しさを俳句などに読み込んだり、方言の美しさなどことばの色や息づかいが感じられるときです。

日々、多くの出会いも別れもあります

が、そのひとつひとつを大事に生きていこうと思っています。

※筆者紹介※

昭和六十二年から、劇団「北芸」に入団し、翌年「あーぶくたった にいたった」で釧路演劇協会の新人賞を受賞、以前に協立病院で事務をしていたこともあり、もしかしたら、協立の方はお会いしているかもしれません。油ののりきった活動的でステキな女性です。現在、私のとなりのデスクで働いています。

同時に花婿募集中。お問い合わせは編集委員の今井伸子まで。



心臓病と私

林田クリニック

田中 梅子

昭和56年の頃から動悸がして、近くの病院で見てもらいました。しかし、既に心臓が異常になっていたので、すぐ道立病院に行くようにいわれました。

次の日、お父さんと私は、道立病院に行き院長先生に見てもらいましたが、すぐに入院したほうがよいといわれました。もし、このままにしておくとお大変なことになるとのことでした。

でも、その頃の私の子供たちは小さかったので、「考えてからきます。」といって帰ってきました。しかしまた脈が速くなり、近くの病院で注射してもらってから長男と一緒に道立病院に行きました。そうして少し横になって休んでいました。そうして院長先生が来て、見ていただいていると、そのまま気が遠くなってしまい、すぐに手術室にはこぼれていました。目が開くと、ICUの中で、ガラスごしにお父さんが見ているのがわかりました。先生が、しばらく機械の調子を調べていました。私は、自分の体が機械人間みたいになってしまいました。次の日、喉がかわいてしかたなく、今すぐにも機会をはずして水が飲みたくて

しかたがありませんでした。婦長さんが、私水を飲みたいということをおわかっていて、先生がいなくなるのを見はからって、そうっと、口に中に氷を入れてくれました。

先生がきて、個室に移してくれました。そこへ行ってみると、姉とお父さんがいたので、すぐに水が飲みたいといって飲ましてもらっていると、看護婦さんが入ってきて、すごく叱られました。

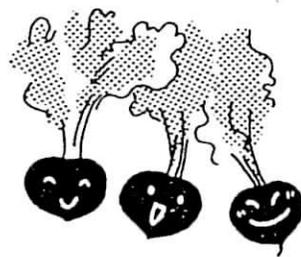
それからしばらくは、ICUと個室を行ったり来たりしていました。

脈が早くなり止まってしまうと、先生も首をかしげていました。しかし、注射をするたびに治まり、また脈が早くなり止まってしまう。そんな繰り返しの日が続きました。脈が早くなると、手足がかたくなり、胸の上に重い石がのっているようになってくるのがわかりました。私はもうダメだと思いました。

しかし、先生がきて注射をするときにおさまります。

そうして二週間目くらいから、だんだん良くなってきたので、検査が始まりました。検査・手術は全て麻酔無しでやったのでとても痛かったです。

心臓の中はなんともなく、次の日に、六人部屋に移りました。心臓の中のペースメーカーをとり出すのに麻酔無しでやったので大変な痛さでした。夏休み中に子



供たちが来て、一番下の子供(当時2年生になっていました)が病院に泊まることいいだして、いうことを聞かず大変でした。夏休みの終わりに退院になり、すぐ市立病院の内科に行ってみてもらいました。その時は別に悪いところも見つからず、甲状腺機能が少し高くなっていることと、腎臓機能が弱っているとのことでした。そのため、二週間に一回検査をするようにいわれ四年ほど通院生活を続けておりました。そのうち、また心臓の調子が悪くなり出しました。夜のしたくをするために台所に立っていたとき、そのまま倒れてしまいました。救急車で中央病院に運ばれて、そこで気がつきました。先生が「注射をします」といわれましたが、私は断わって帰って来しました。

それから、2・3日たってからまた倒れてしまい、今度は医師会病院の手術室のなかで目覚めました。かりのペースメーカーを入れてから、一週間で本当のペースメーカーを入れることになりました。その時の手術室のなかでスタッフが多いのにはびっくりしました。

手術では、麻酔を一本うつ、きれる、また一本うつ、きれるの繰り返しで、気持ちが悪くなり、吐きながら手術を受けていました。一人の先生が「血を吐いてはダメ」といって、1時間で終わるはず



の所が3時間もかかり、大変でした。

ICUの中はたいへんうるさいところだなあと思っていました。それから、CCV室、個室と移り、食べたものはすぐにもどしてしまおうというありさまでした。

それで、胃癌ではないかといわれて胃の検査をしましたが、癌ではないが潰瘍になりやすい方ですといわれ、今度は、輸血をすると38度の熱が出てくるのでした。子供三人とお父さんが氷で冷やしてくれたりとお変でした。

また、すぐに急性肺炎になり、直ったと思ったら今度は腎臓が悪くなってしまったのです。退院してから労災病院に行くようにいわれたので、労災で腎臓を見てもらいに行ったところ、手紙を書いてくれて、すぐに林田クリニックに行くようにいわれました。林田クリニックで検査をしてもらい、その後一年半くらいは労災病院、林田クリニックと通院入院をくり返していました。だんだん悪くなっていきました。

今では、透析に入って一年が過ぎました。まだ労災病院と林田クリニック病院に通院しています。命を大切に、明るく頑張っていきたいと思います。



秋の一泊旅行は

浦幌留真

温泉に決定

9月28日(土)と29日(日)に予定されている秋の一泊旅行の行き先が、役員会で話し合った結果、留真温泉に決定しました。釧路から2時間くら

いで行けるところで、露天風呂もあるそうです。今から予定の中に入れておいてください。多くの方が参加するように願っています。家族の方

大歓迎です。

おいしい

店

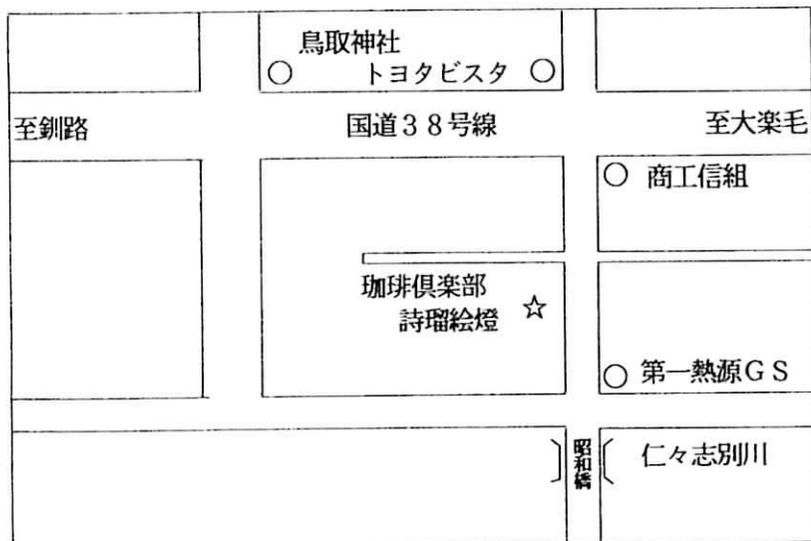


今回紹介するお店は、「珈琲倶楽部・詩瑠絵燈（シルエット）」です。開店してから5年目になります。お店は2階建てになっており、1階はカウンターとテーブル、コーヒー豆、器具の販売、自家焙煎、2階はテーブル5卓あり、天井はふきぬけになっており、窓にはステンドグラスがはめこまれています。木製品をたくさん使っており、店に流れるバックグラウンドミュージックも店のイメージにぴったり。ゆっくりくつろげることを請け合います。

アイスコーヒーは、グラスが冷凍してあり、氷もアイスコーヒーでできており、溶けてもうすくなりません。

コーヒーもブレンドからストレートまで種類がもりだくさん。

また、お持ち帰りピザ、コーヒー豆の宅配もしていることでした。



営業時間
平日 AM 10時～PM 10時
日・祭日 AM 11時～PM 10時

場所
市内鳥取北四丁目二十の十五
☎ 5119916

原稿大募集

釧路地方腎友会が発足以来10年以上継続しているみんなの機関紙「たんちょう」!!!
お気軽に原稿をお寄せください。

誰でも!何でも!気軽にお寄せください!!!

たんちょう編集部



【会員の動向】

【新患者】

結城 正晴

菊池 良子

釧路市

伊畑 法恵

成田 サヨ子

釧路郡釧路町

羅臼町礼文町

村山 通康

近藤 誠

釧路市

釧路市

伊藤 滋

関 エミ子

釧路市若草町

白糠郡音別町

木村 留三郎

釧路市

小川 源二

釧路市

吉川 三郎

【新会員】

近藤 誠 (釧泌) 7月より

伊畑 法恵 (市立) 7月より

高野 アキ (厚岸) 7月より

関 エミ子 (釧泌) 7月より

結城 正晴 (市立) 8月より

館 圭子 (市立) 8月より

【転院】

木村 勝幸 日赤から釧路泌へ

昆野 充活 日赤から釧路泌へ

藤原 一文 協立から釧路泌へ

船木 崇子 日赤から釧路泌へ

中標津町

HSK / たちよ
昭和四十八年一月十三日 第二種郵便物認可 HSK通巻三二五号
平成二年八月十日発行 二五頁に一回 一頁百円
発行：北海道身体障害者団体共同行政協会 編集：釧路地方管区会

